

J R 烏山線利用促進対策特別委員会 活動報告

真夏の日差しが降り注ぐ、山あげ祭中日(なかび)の7月26日、当委員会の取り組みとして市議会議員が烏山駅前に集合。烏山線を利用して、山あげ祭にお越しいただいたお客様を歓迎する「お出迎え」を行いました。

宇都宮10時03分発の蓄電池駆動電車「アキュム」が満員の乗客を乗せてダイヤ通りに「山あげ祭」をモチーフにした烏山駅舎に到着。出席議員全員で横断幕を掲げ笑顔での歓迎、案内所への誘導等にお客様も笑顔で応えてくれましたが、スイカ利用者の運賃精算にかなりの時間を要してしまい今後の課題と考えました。

J R 烏山線は本市と県都宇都宮を結ぶ大動脈であり、その存続と更なる利用向上を図るため、市としては烏山線沿線花構想を掲げ、ひまわりやレンゲソウの植栽などにも取り組んでいます。

委員長 高田悦男

